

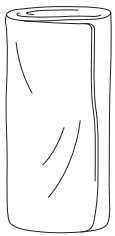


PS-033 / LOLO

MANUAL - Ver 1.02

## ■ セット内容

製品を広げる前に、セット内容をご確認ください。万が一不足している物がございましたら、ご購入いただいた店舗、もしくは弊社までお問い合わせください。



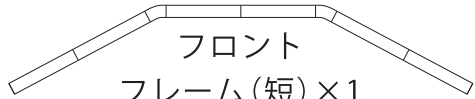
本体×1



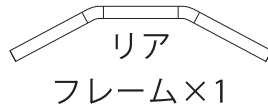
インナー  
テント×1



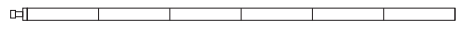
フロント  
フレーム(長)×1



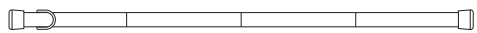
フロント  
フレーム(短)×1



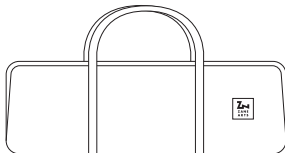
リア  
フレーム×1



ブリッジフレーム×2



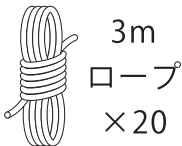
センターポール×1



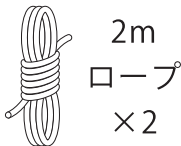
キャリーバッグ×1



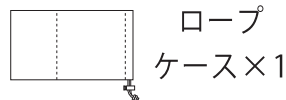
ポールケース×1



3m  
ロープ  
×20



2m  
ロープ  
×2



ロープ  
ケース×1

※ペグ・ハンマーは付属していません。

## ■ 本製品について

製品をお使いになる前に、本製品の内容・特性を充分にご理解ください。

---

ペグは付属していません

---

本製品にはペグは付属していません。

以下の推奨ペグ、および必要本数を参考に事前にご用意ください。

### 【推奨ペグ・必要本数】

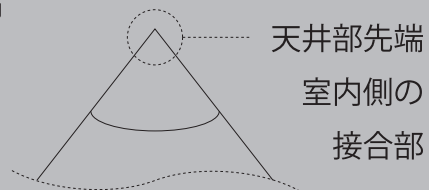
●TO-528／グラートステイク28 × 22本

---

シームシーリング剤を塗布してください

---

室内天井部先端の接合部には、シームテープが貼れない部分があります。万が一水漏れする場合は、市販のシームシーリング剤を塗布してください。



---

## 撥水効果は維持できません

---

表面には撥水加工を施してありますが、撥水効果を長時間維持する事はできません。一定時間雨にあたった場合や朝露などで表面にシミやムラなどが発生します。また、撥水性能はお使い毎に低下し、長期保持させることもできません。撥水加工に関しては保証対象外になりますので、ご了承ください。

---

## 折りジワが目立ちます

---

テント、シェルター、タープで使用する一般的な化学繊維は、折りジワが発生します。特に本製品の生地は、色味や表面加工などの理由で折りジワが目立ちます。性能に影響はございませんので、ご了承ください。

---

## 3シーズン用です

---

本製品は、降雪や低温下に耐え得る仕様にはなっていません。ジッパーが凍る低温下や降雪時には使用しないでください。

---

## 薪ストーブは絶対に禁止

---

本製品の生地には、化学繊維を使用しています。化学繊維は燃えると液化する性質があり、熱せられた液体が人体に付着すると重大な火傷の被害を及ぼします。テント、シェルター、タープには絶対に火を近づけないでください。特に薪ストーブのテント、シェルター、タープ内での使用は、絶対にしないでください。

---

## 火気厳禁タグを切り取らない

---

製品に縫い付けてある火気厳禁タグは切り取らないでください。火気厳禁タグの無い製品は保証や修理を受ける事ができません。

## ■ 設営と使用中の注意

お使いになる人や、まわりの人への危害、財産の損害を防ぐために、以下の内容は必ずお守りください。



**危険**

---

死亡、または重傷を負う可能性がある  
内容を示しています。

---

- テント、シェルター、タープは火気厳禁です。火災や酸欠、一酸化炭素中毒などの恐れがあり大変危険です。火器の使用はもちろん、付近に火を近づけないでください。
- 台風や暴風雨などの悪天候時や、それらが予想される場合は、速やかにキャンプを中止してください。
- 風の影響を受けやすい場所や、落石や雪崩、増水などの恐れのある場所で、設営はしないでください。



## 注意

---

軽傷を負う事や、物的損害が発生する  
可能性がある内容を示しています。

---

- 常設用ではありません。本製品を常設した場合、紫外線などの影響で短期間のうちに劣化し破損します。
- 水はけが良く、平らな場所で設営してください。水気や汚れは劣化につながり、不整地は製品の歪みによる破損につながります。
- 石や小枝など、製品を傷つける恐れのある物は、設営前に取り除いてください。
- 製品を設営する場合は、周りに注意しながら、必ず二人以上で行ってください。
- 風が強い時は設営をしないでください。本体が飛ばされたり、風の力により製品を破損する場合があります。
- 設営時は突風に備え、常に本体やフレームが飛ばないように意識して、支えながら作業をしてください。
- ポールやフレームを伸ばす際は、各節を確実に差し込んでください。各節がしっかり差し込まれていない状態での製品組み立ては、破損につながります。

- ポールやフレームを取り回す際には、先端や跳ね返りに気をつけ、周りに注意しながら作業をしてください。
- 設営後は、テント、シェルター、タープが風に飛ばされないよう、ペグとロープで地面にしっかりと固定してください。
- 急な天候の変化に対応できるよう、製品から長時間離れないようにしてください。



## ■ 撤収と使用後の注意

お使いになる人や、まわりの人への危害、財産の損害を防ぐために、以下の内容は必ずお守りください。



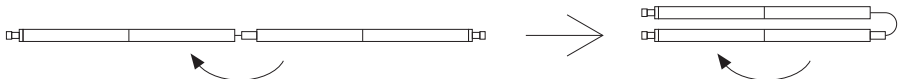
**注意**

---

軽傷を負う事や、物的損害が発生する  
可能性がある内容を示しています。

---

- 撤収作業も二人以上で行ってください。
- 撤収は、設営と逆の手順で行なってください。無理な撤収は、製品の破損につながります。
- フレームやポールを抜き取る際など、先端や跳ね返りに気をつけ、周りに注意しながら作業してください。
- ショックコード(ゴム紐)が内蔵されたフレームやポールを畳む際は、全体の真ん中から折り畳むようにすると、ショックコードに余計なテンションが掛からず、ゴムの劣化を緩和させることができます。



- 使用後は生地汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。汚れや水気を放置したまま保管すると、色移りやカビ、悪臭の原因になったり、防水加工やシームテープの剥離につながります。
- フレームやポール、アクセサリーなどの金属部品も、十分に乾燥させてから保管してください。水気や汚れを放置したまま保管すると、腐食により破損する恐れがあります。
- 塩分は生地劣化を促進させます。海の近くで使用した場合は、真水で洗い流し、よく乾燥させてから保管してください。
- 生地汚れを落としたり、水気を拭き取る場合は、柔らかいタオルで軽く押さえる様に拭き取ってください。擦るように拭き取ると、コーティングを痛める場合があります。
- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。撥水・防水加工の剥離や色落ちなどの恐れがあります。
- 洗濯はしないでください。生地劣化やパーツの破損につながります。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

## ■ 設営手順

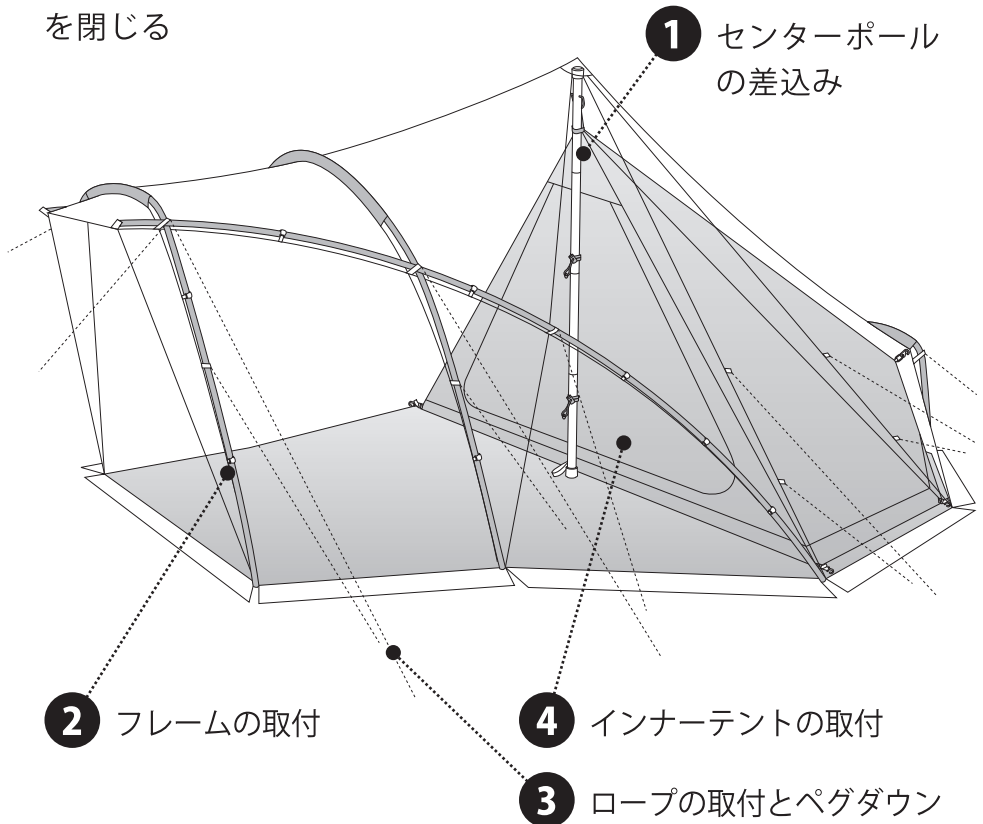
番号に従って、設営をします。

### 【事前準備】

※ペグ・ハンマーを用意する

推奨ペグ・本数 > TO-528 / グラートステイク28×22

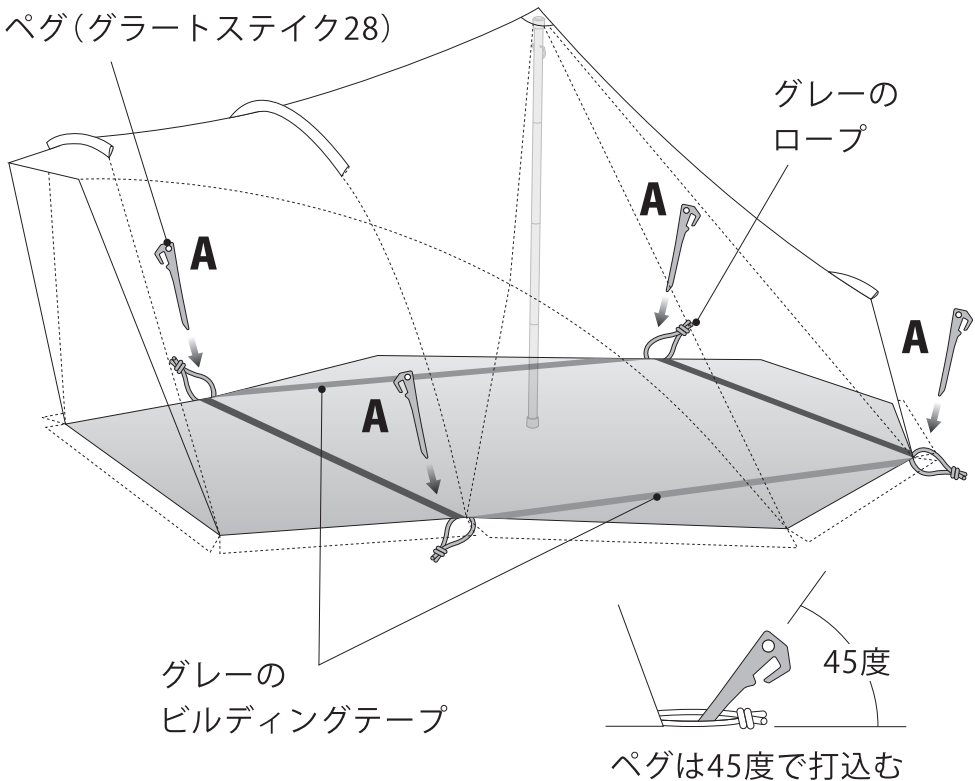
※全てのジッパー  
を閉じる



# 1 -1 センターポールの差込み

A: グレーのビルディングテープのコーナーにある4カ所のグレーのロープにペグ(グラートステイク28)を打込み、四角形をつくる。

※なるべく正確に四角形を作ってください。四角形がゆがんだ状態で設営を進めると、完成状態もゆがみ、破損しやすくなります。

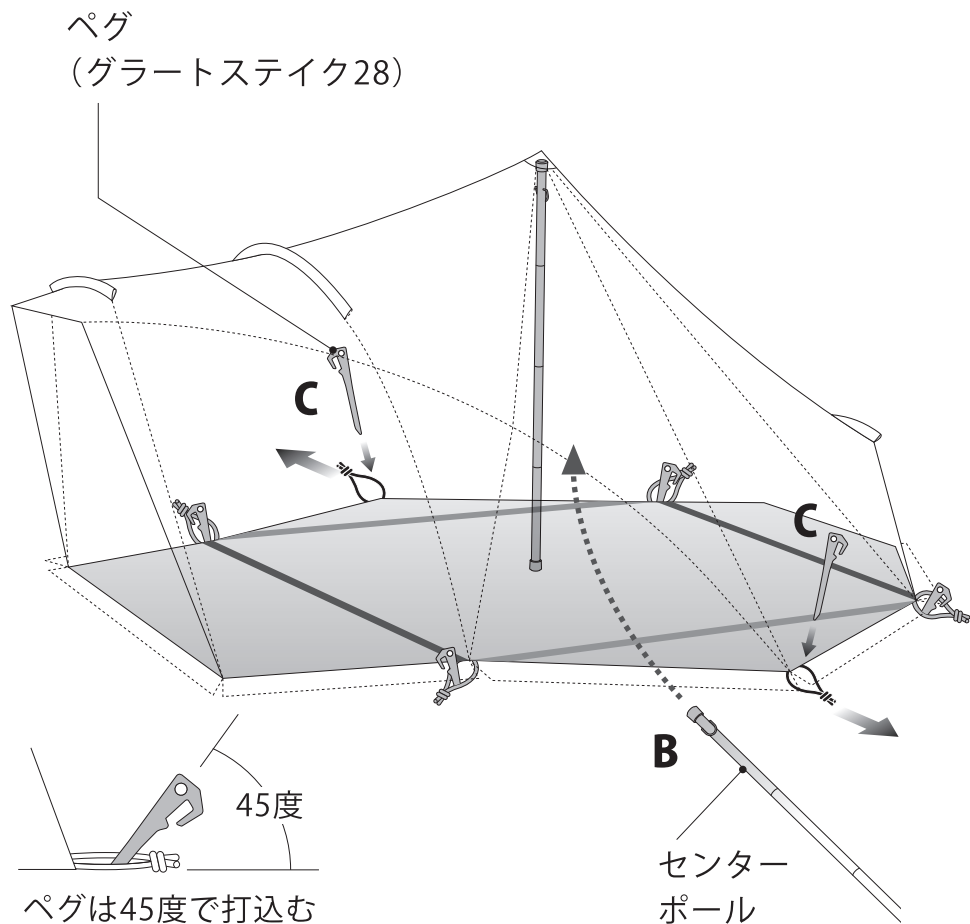


## ① -2 センターポールの差込み

B:センターポールを室内に入れ、頂点を押し上げ自立させる。

C:サイド部分のコーナー2カ所を外側に引き、

ペグ(グラートステイク28)を打込む。



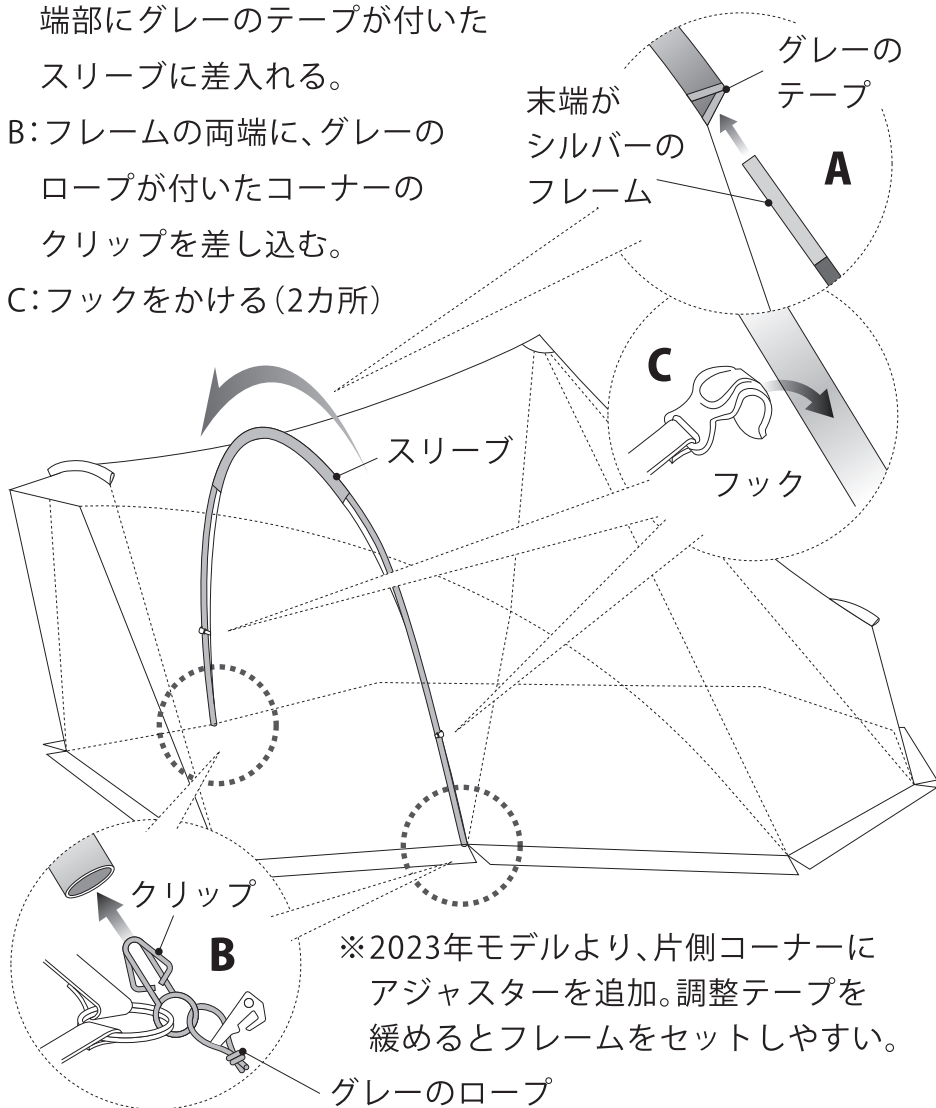
## 2 -1 フレームの取付

A: 末端がシルバーの一番長いフレーム(フロントフレーム(長))を  
端部にグレーのテープが付いた

スリーブに差入れる。

B: フレームの両端に、グレーの  
ロープが付いたコーナーの  
クリップを差し込む。

C: フックをかける(2カ所)

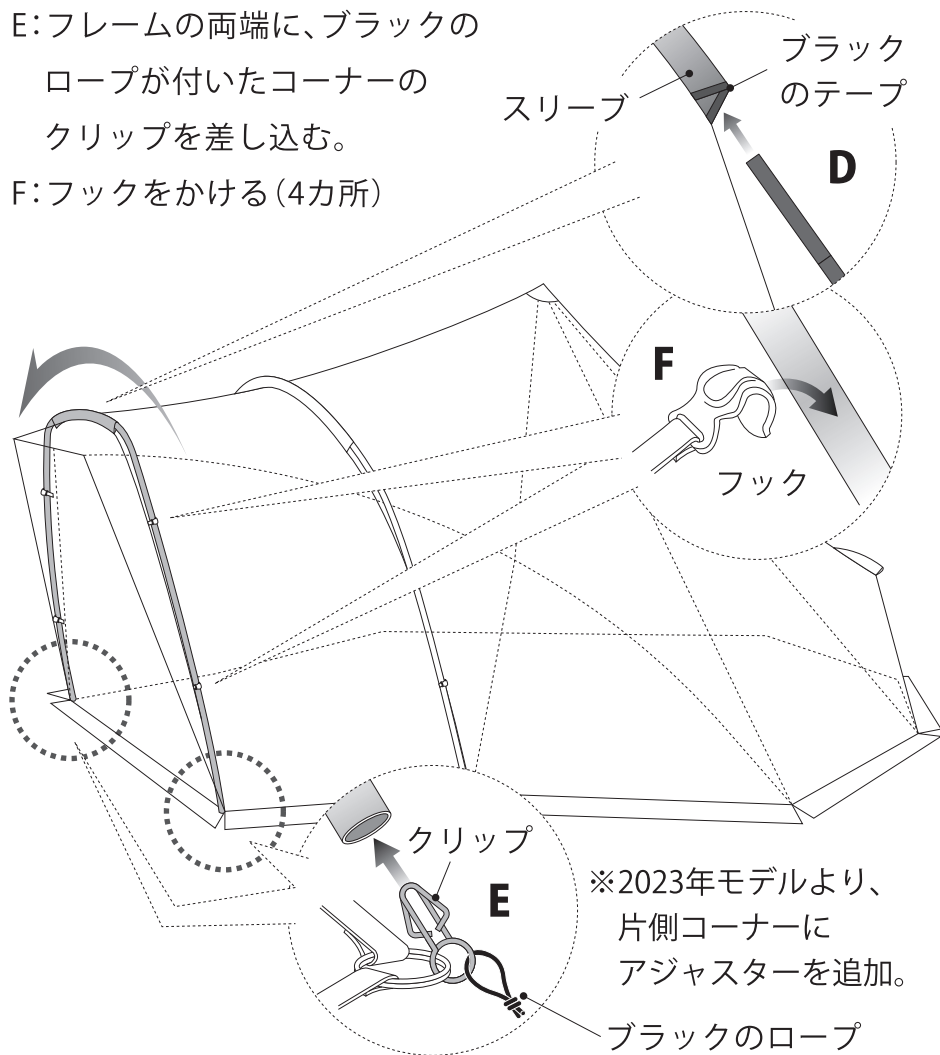


## ② -2 フレームの取付

D:二番目に長いフレーム(フロントフレーム(短))を  
端部にブラックのテープが付いたスリーブに差入れる。

E:フレームの両端に、ブラックの  
ロープが付いたコーナーの  
クリップを差し込む。

F:フックをかける(4カ所)



## ② -3 フレームの取付

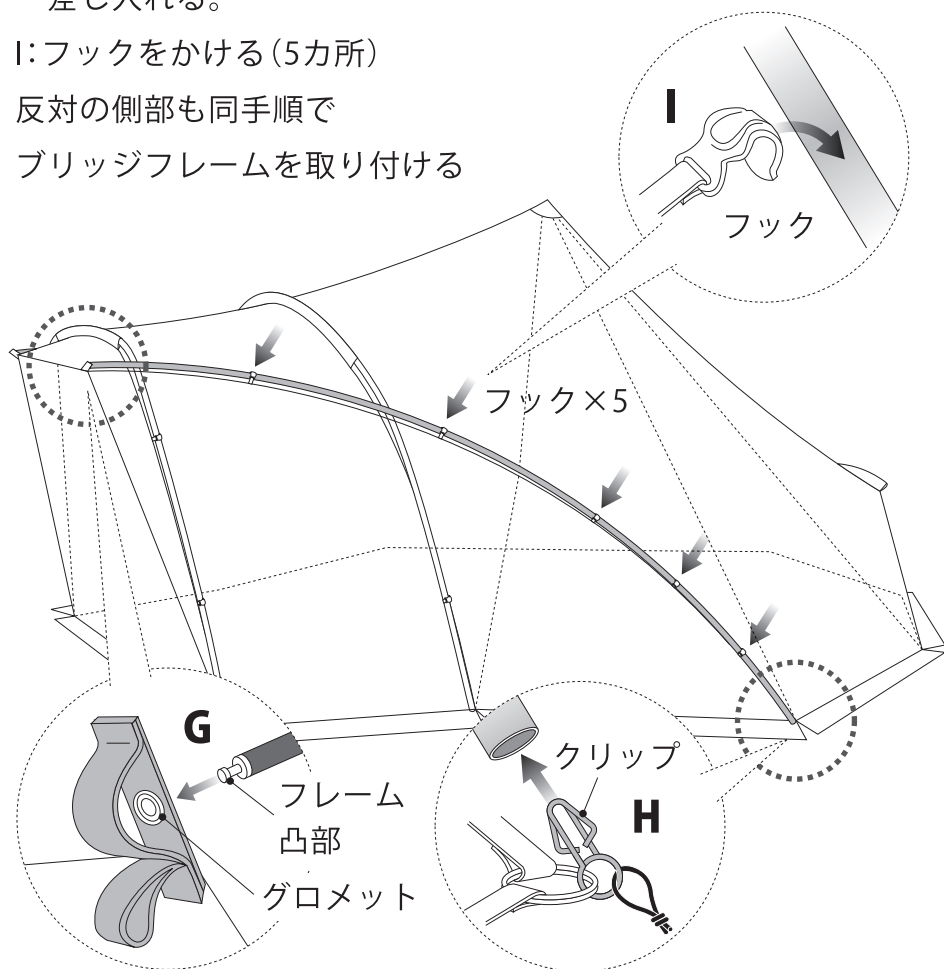
G: 先端片側に凸部分が付いたフレーム(ブリッジフレーム)の凸部分を、本体フロント上部先端のグロメットに差し込む。

H: ボトムサイドのコーナーにあるクリップをフレーム端部に差し入れる。

I: フックをかける(5カ所)

反対の側部も同手順で

ブリッジフレームを取り付ける





## ② -4 フレームの取付

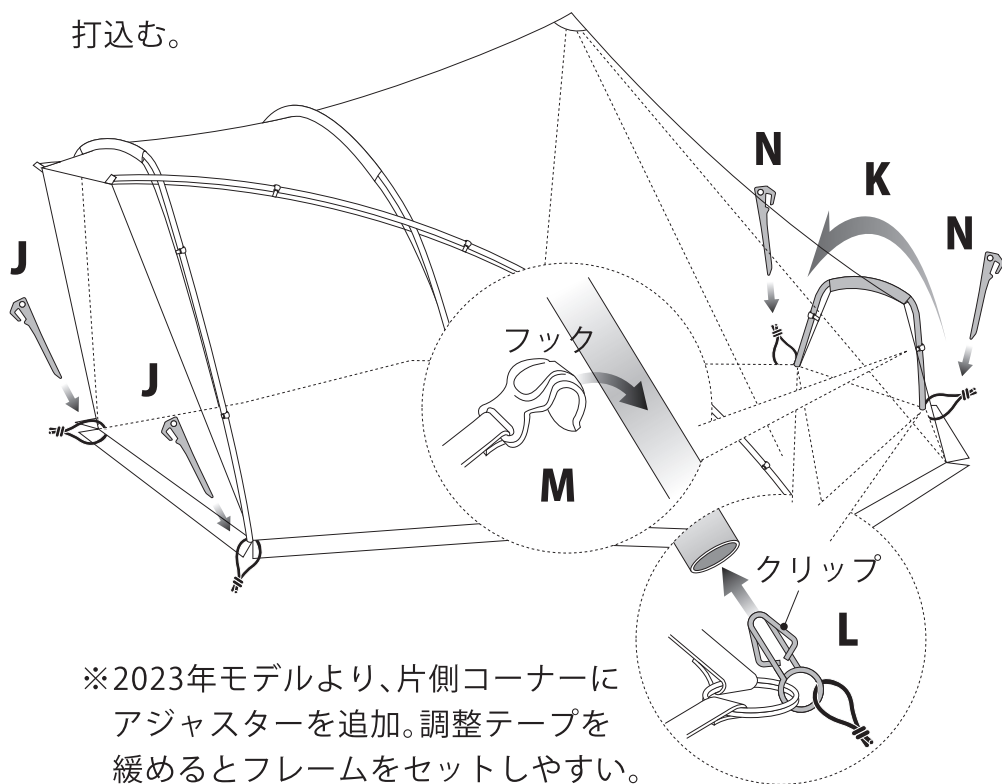
J: フロントコーナー2カ所にペグ(グラートステイク28)を打ち込む。

K: 一番短いフレーム(リアフレーム)を本体の後ろにあるスリーブに差入れる。

L: ボトムサイドのコーナーにあるクリップをフレーム端部に差し入れる。

M: フックをかける(2カ所)。

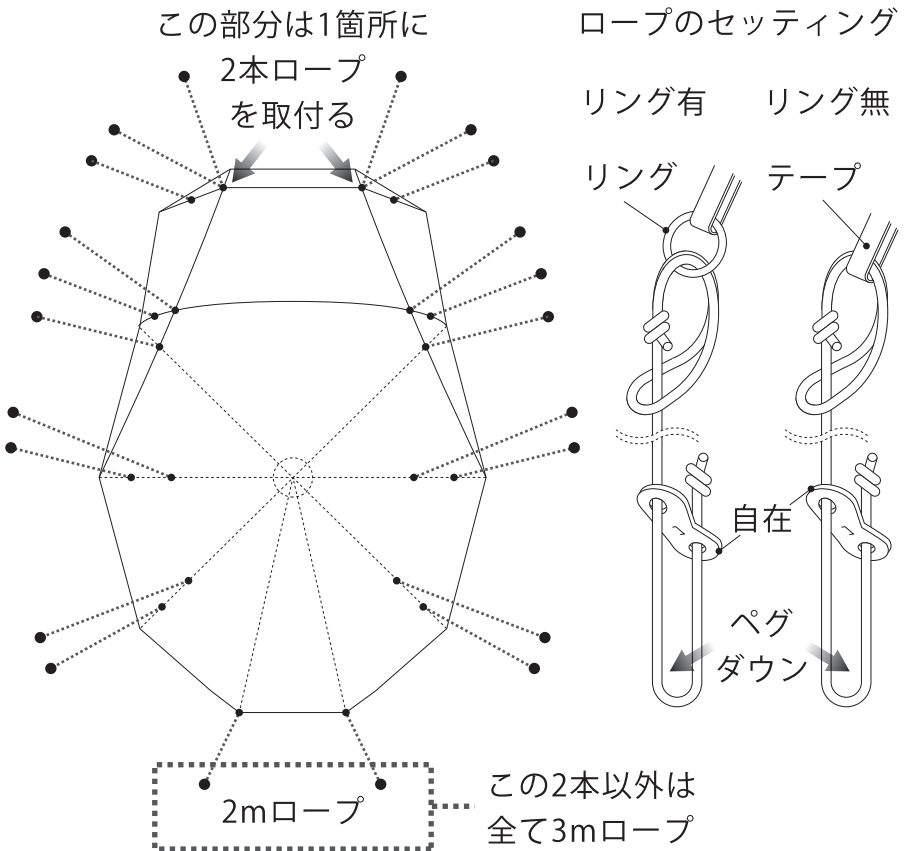
N: コーナー2ヶ所を外側に引き、ペグ(グラートステイク28)を打込む。



※2023年モデルより、片側コーナーにアジャスターを追加。調整テープを緩めるとフレームをセットしやすい。

### 3 -1 ロープの取付とペグダウン

下図に従い、2mロープと3mロープを全てセットする。  
本体後方2ヶ所のみ2mロープ。それ以外は3mロープをセット。  
リングが付いているテープにはリングに、  
リングが無い場合はテープに直接ロープをセット。



### ③ -2 ロープの取付とペグダウン

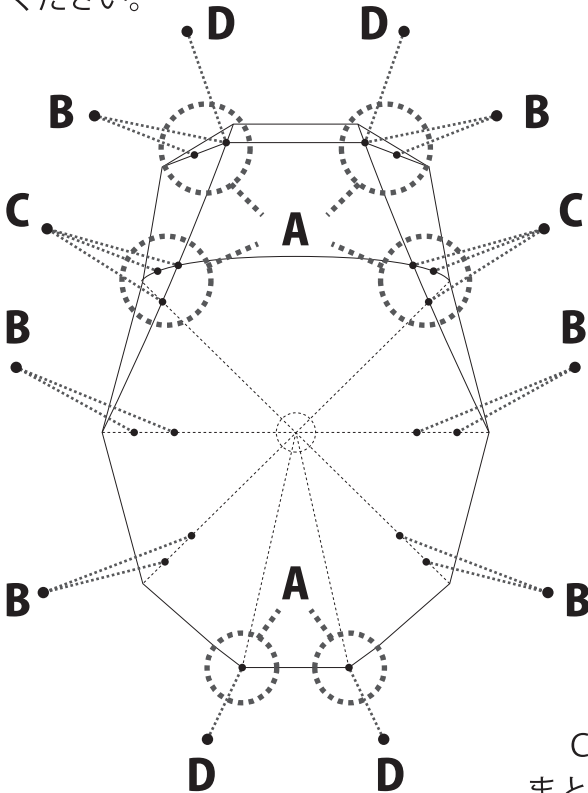
A: フレームにテープを巻き付ける。

B: 2本のロープをまとめて1本のペグで固定。

C: 3本のロープをまとめて1本のペグで固定。

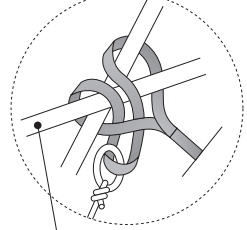
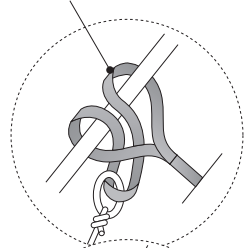
D: 1本のロープを1本のペグで固定。

※自在調整はインナーテントのセット後です。  
この時点で自在のテンションを強く掛けないで  
ください。

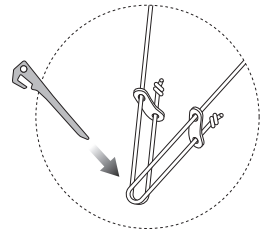


**A**

テープを  
フレームに  
巻付ける



交差している  
フレームは、  
2本一緒に  
巻付ける

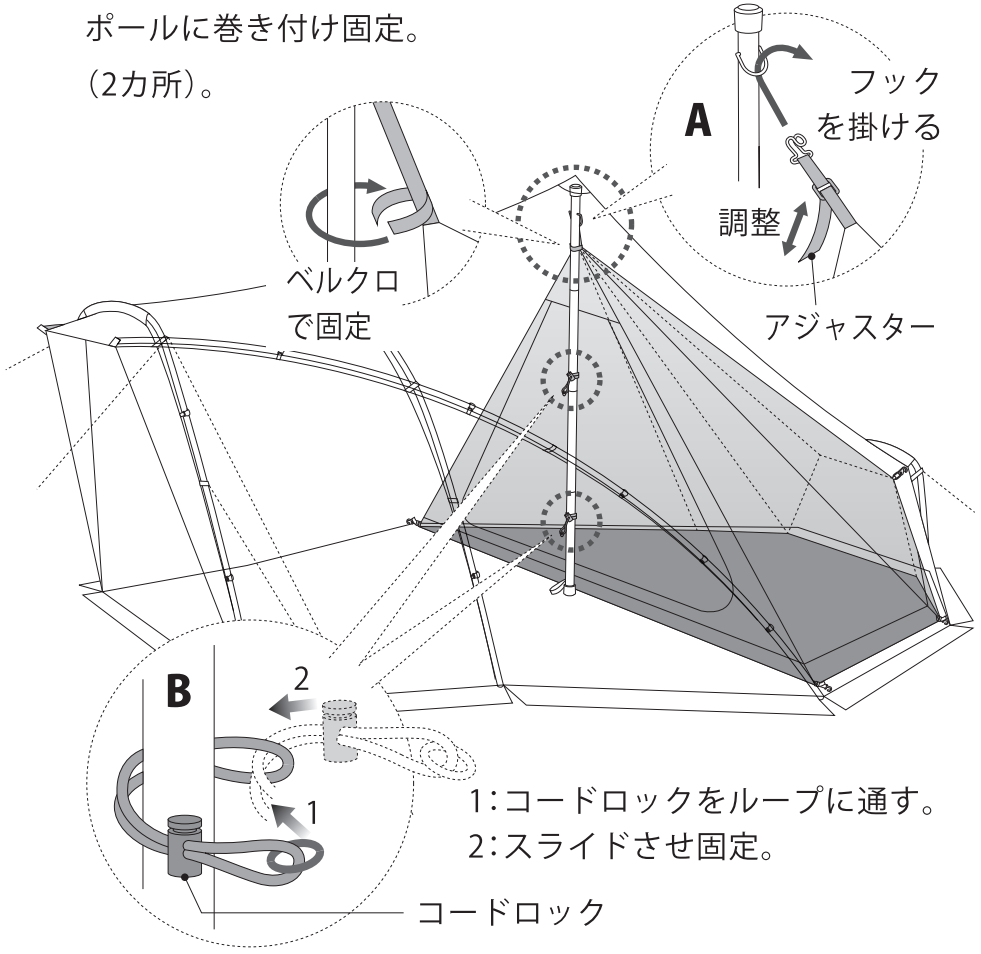


B部分は2本まとめて、  
C部分は3本のロープを  
まとめて1本のペグで固定

## 4 -1 インナーテントの取付

A:センターポールのDリングにインナーテント上部のフックを掛  
け、アジャスターで高さを調整し、ベルクロで固定する。  
(ポールを斜めに倒すと上部に手が届きます。)

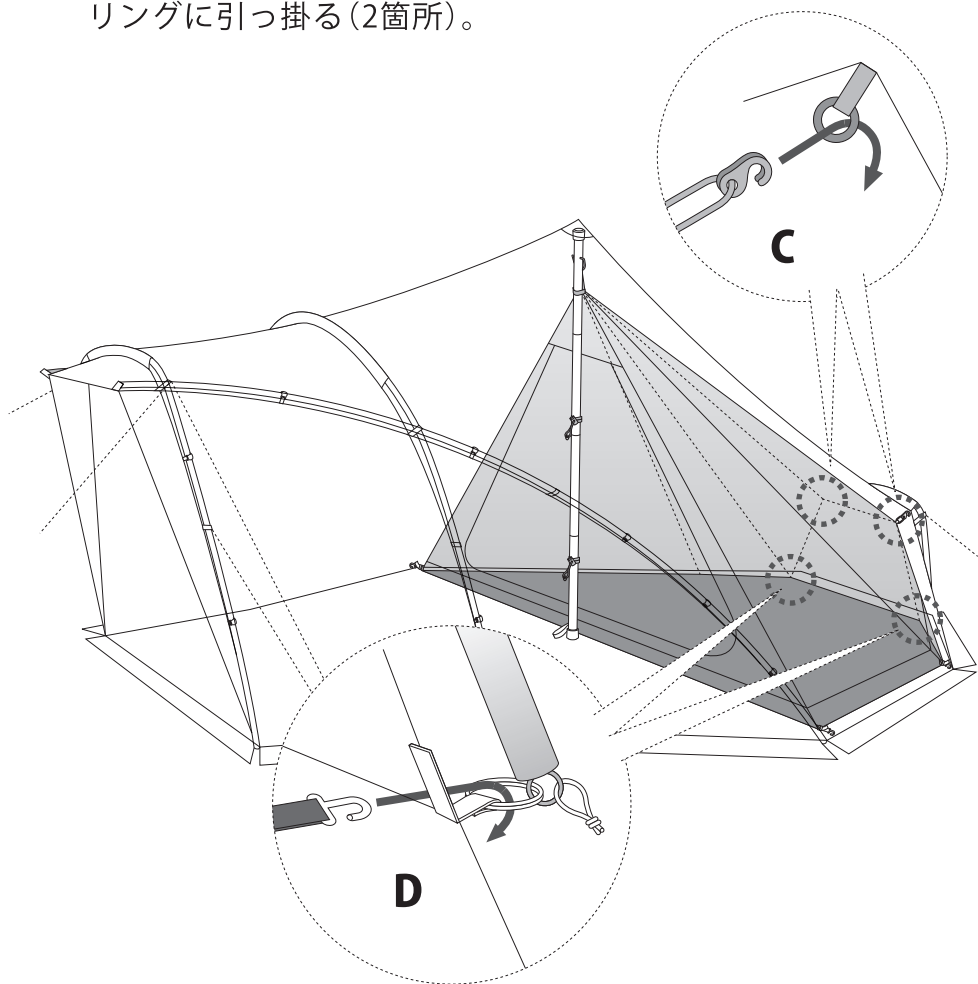
B:インナー中央部にある固定用テープを  
ポールに巻き付け固定。  
(2カ所)。



## 4 -2 インナーテントの取付

C:室内後方の上部リングにインナーテントのフックを掛ける  
(2箇所)。

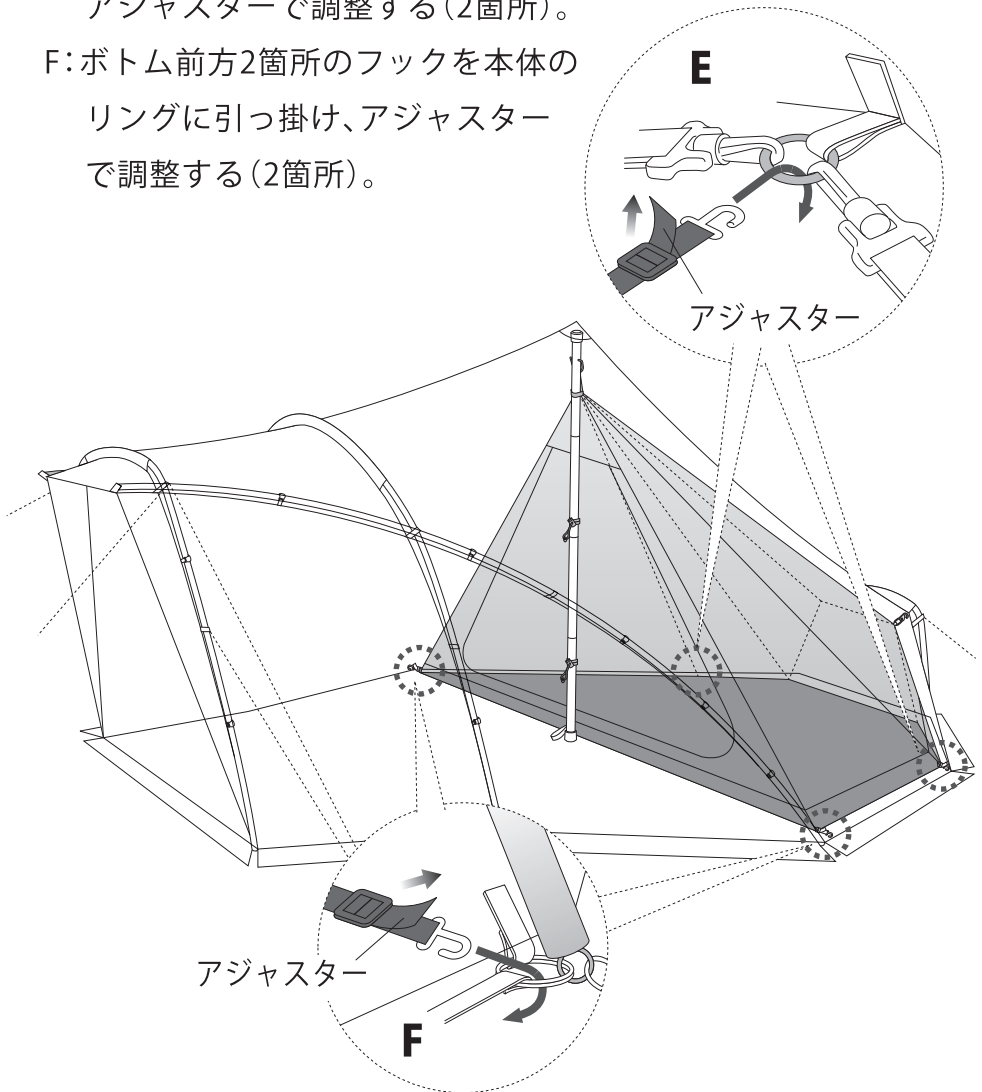
D:ボトム後方2箇所のフックを本体の  
リングに引っ掛る(2箇所)。



## 4 -3 インナーテントの取付

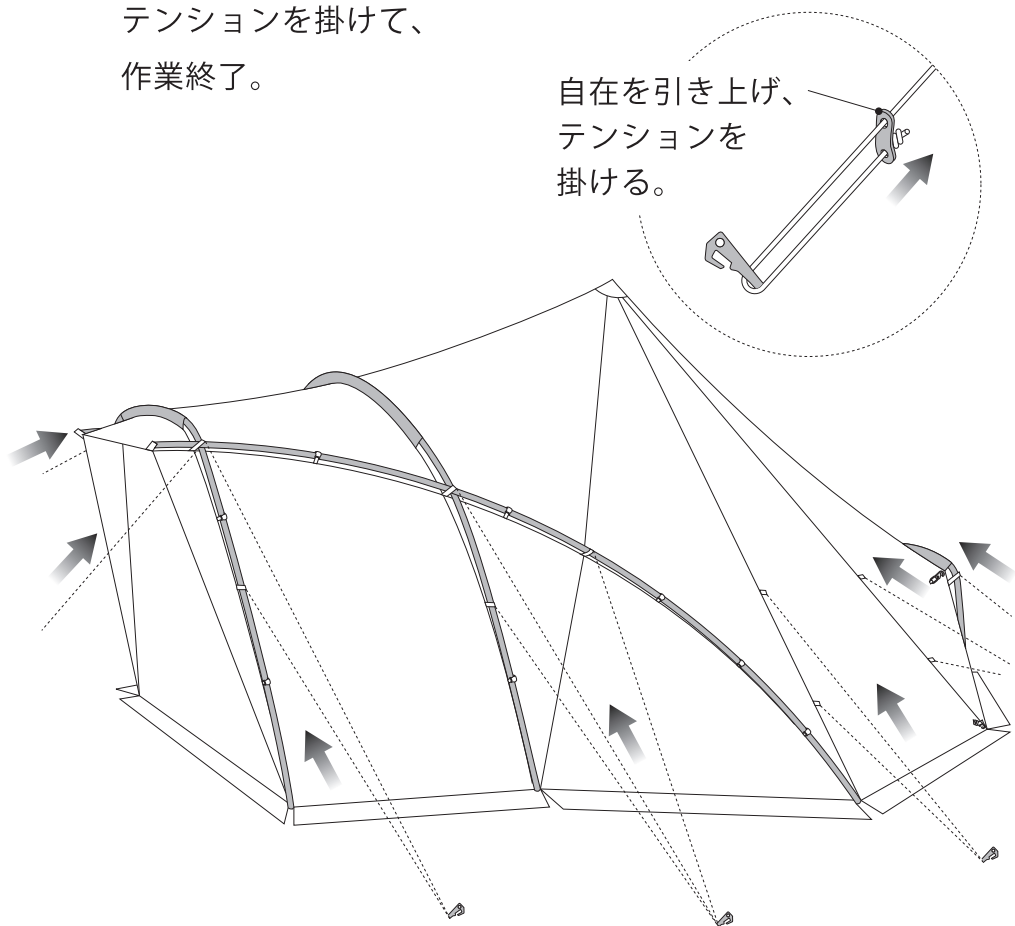
E: ボトム中央2箇所（前後）のフックを本体のリングに引っ掛け、アジャスターで調整する（2箇所）。

F: ボトム前方2箇所（左右）のフックを本体のリングに引っ掛け、アジャスターで調整する（2箇所）。



## 4 -4 インナーテントの取付

G: インナーテントの取付が完了したら、  
張り綱全ての自在を引き上げ、  
テンションを掛けて、  
作業終了。



## ■ 保証と修理について

製品に不備な点がございましたら、ご購入いただいた店舗、もしくは弊社までお問い合わせください。製造上の欠陥が理由の場合は、無償で交換・修理をさせていただきます。ご使用や経年による破損などに関しては、適正な価格で修理をさせていただきます。製品やパーツの廃番により資材の入手が困難な場合や、製品の状態によっては修理ができない場合もございますので、ご了承ください。

※ 修理品をお預けの際は、製品の水気や汚れを取ってからお預けください。水気や汚れがあるものは、修理作業の妨げになります。弊社の方で、修理前に一度それらを取り除く作業を行った場合は、コストと時間に影響がでて、結果的にお客様へのご負担が増える場合がございます。ご理解の程よろしくお願い致します。

株式会社ゼインアーツ

〒390-0851 長野県松本市島内 7190-2

info@zanearts.com